



Geneious Prime でシーケンス解析

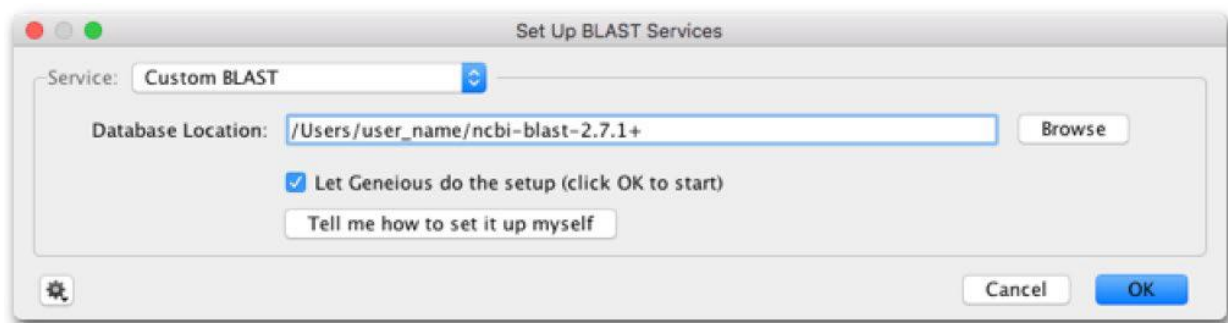


第4回 カスタム(ローカル)BLAST

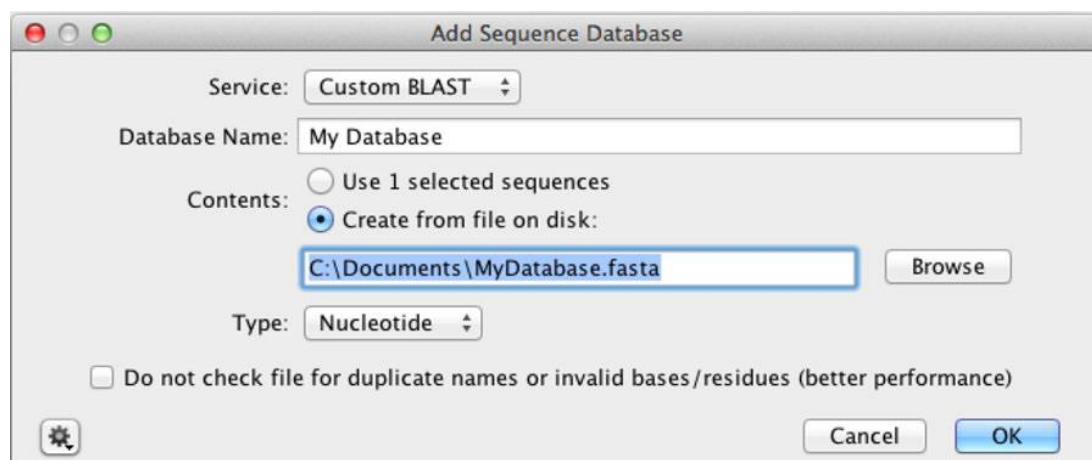
NCBI で大量の BLAST 検索を行うのに時間がかかっていませんか？(1 つであってもネットワークの状況によっては遅いですよ…)それとも NCBI の BLAST では検索できないような独自のシーケンスをお持ちでしょうか？セキュリティの都合で外部にシーケンスを送れない方もいらっしゃるのではないかと思います。

Geneious では、簡単にお手持ちの FASTA ファイルや Geneious 内のシーケンスをカスタムデータベースとして設定し、ネットワークに接続せずにローカル BLAST 検索を行うことができます。

カスタム BLAST を行うには、まず初めに NCBI の提供する BLAST+ (カスタム BLAST ツール) の設定が必要です。**Tools** → **Add/Remove Databases** → **Set Up BLAST Services** をクリックして **OK** ボタンをクリックします。



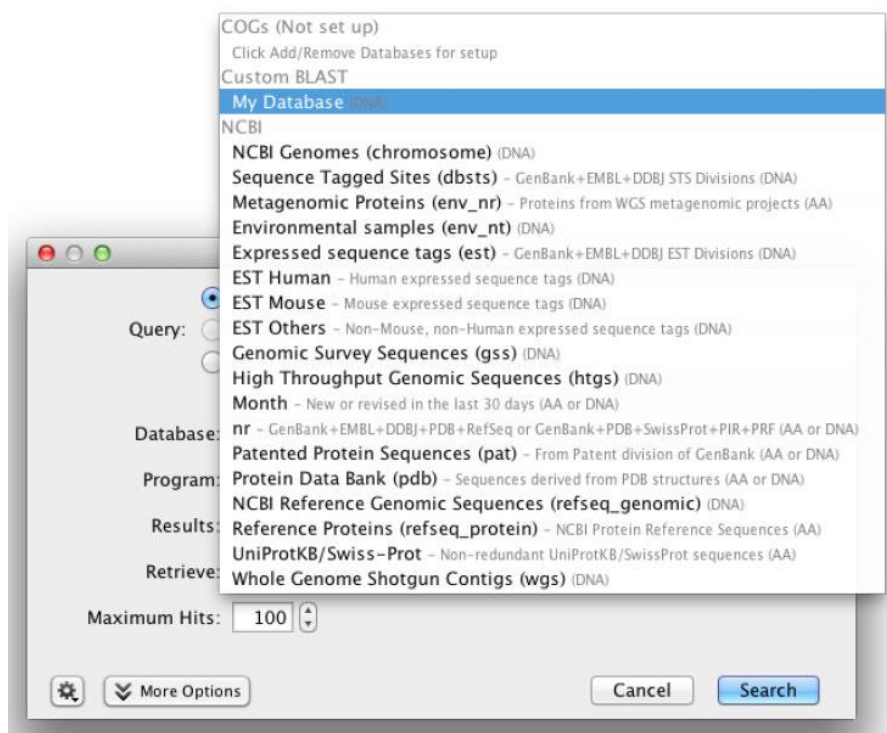
次にカスタムデータベースを設定します。お手持ちの FASTA ファイルからデータベースを作成するには、**Tools** → **Add/Remove Databases** → **Add BLAST Database** を選択します。



Browse ボタンから BLAST したいシーケンスを含む FASTA ファイルを指定し、**Database Name** に名前を入れて、**OK** ボタンをクリックします。データベースに用いる FASTA ファイルは、塩基かアミノ酸のどちらかのシーケンスだけが含まれ、シーケンス名に重複がないことが必要です。

Geneious 内のローカルフォルダのシーケンスからデータベースを作成するには、ドキュメントを選択してから、**Tools** → **Add/Remove Databases** → **Add BLAST Database** を選択し、**Database Name** に名前を入れて、**OK** ボタンをクリックします。

たったこれだけでカスタム BLAST の準備は完了です。カスタム BLAST 検索を行うには NCBI BLAST を使用する手順と同じく、クエリーシーケンス(複数選択可)を選択し、ツールバーの **BLAST** ボタンをクリックするか、**右クリック** → **BLAST** を選択します。**Database** のプルダウンの Custom BLAST の下に、設定したデータベースが表示されますので選択します。これ以外は NCBI BLAST と全く同じ方法で使用できます([前回:第 2 回 BLAST 検索 もご参照ください](#))。



NCBI BLAST+ツールに関する詳細はこちらをご参照ください。

https://blast.ncbi.nlm.nih.gov/Blast.cgi?CMD=Web&PAGE_TYPE=BlastDocs&DOC_TYPE=Download



Geneious Prime 2021

フリートライアル・日本語マニュアルのご希望は

[こちら](#)